

# 逢初川沿いの 新設道路計画について

令和5年6月23日・24日

熱海市 都市整備課

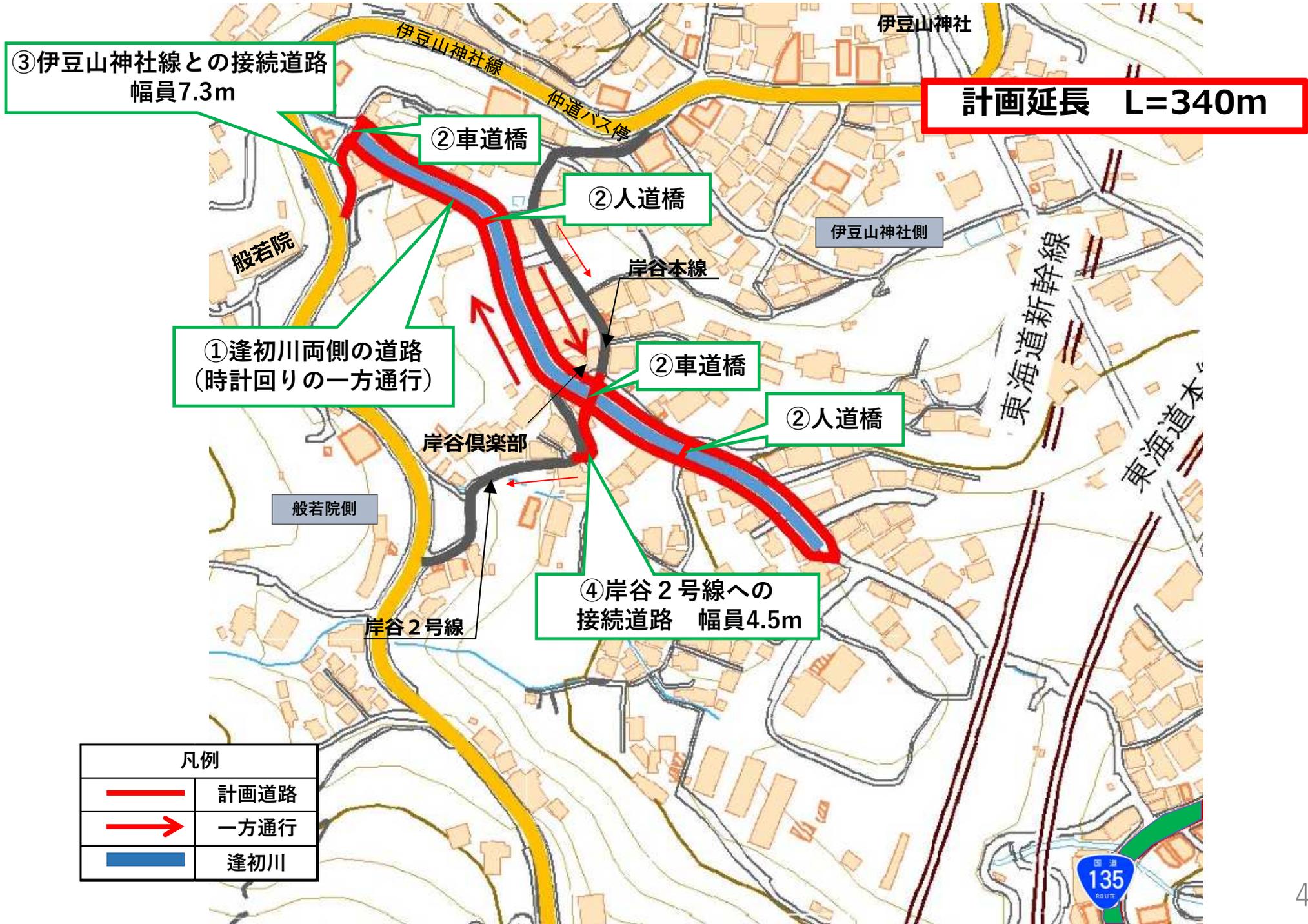
# 本日の次第

**1. 道路計画について**

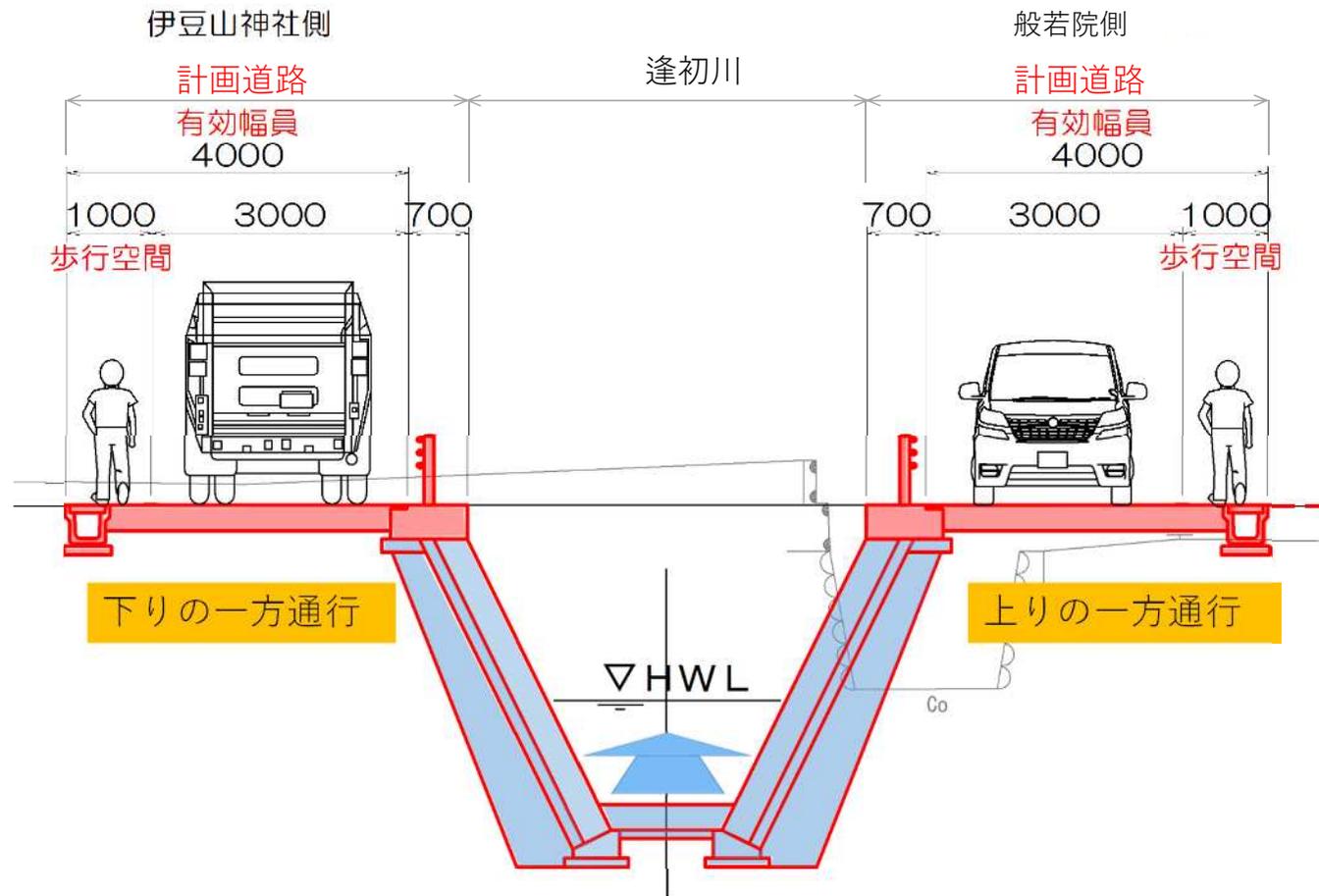
**2. 計画道路の整備効果について**

**逢初川を中心とした地域の真中に  
命と生活を守る周回性のある  
道路をつくる。**

# 1-(1) 逢初川沿いの道路計画について (平面図)



# 1-(2) 逢初川沿いの道路計画について (横断面図)



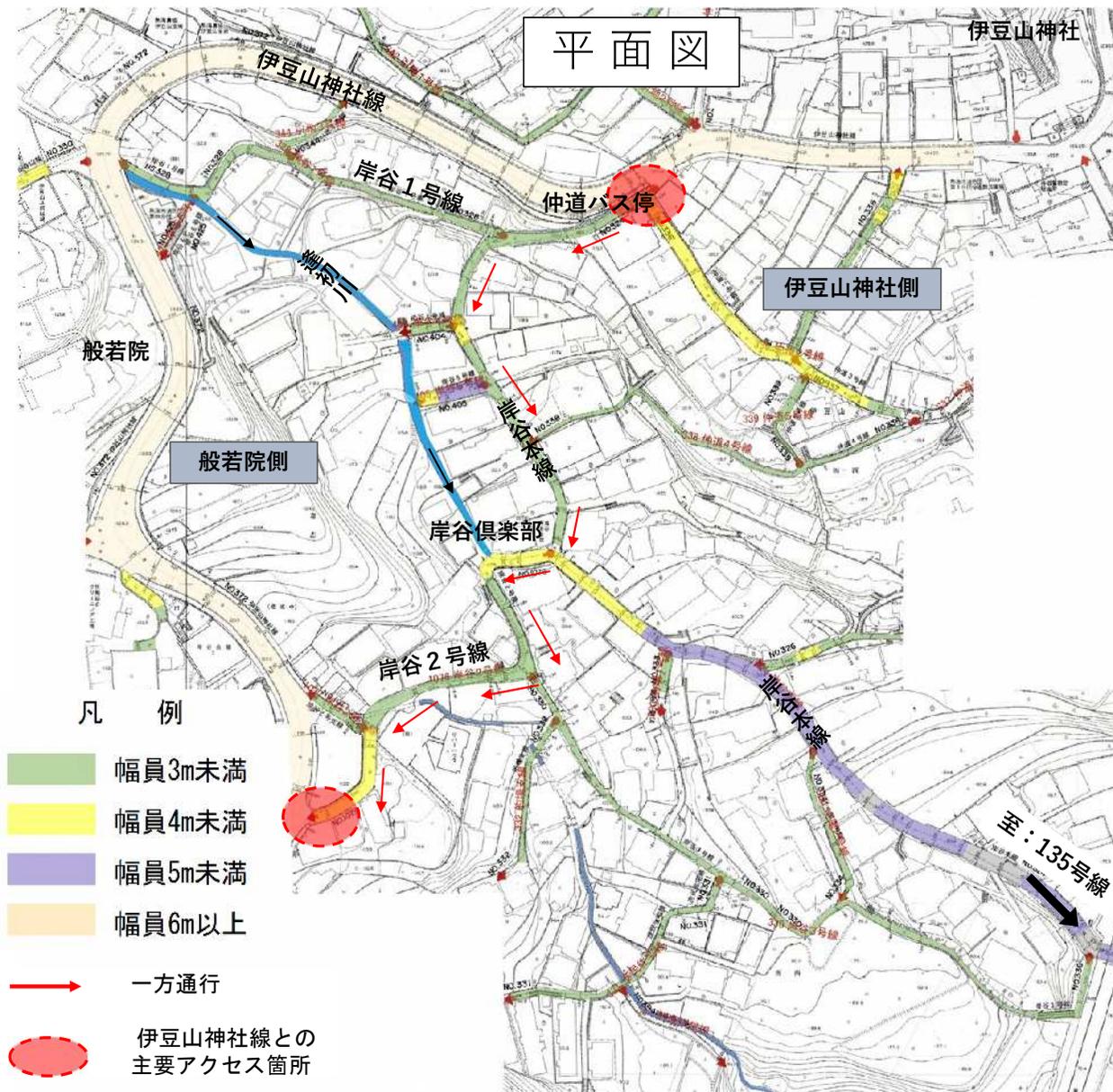
上流から下流を見た図

- 道路幅員は、有効幅員4.0mとします。
- 有効幅員4.0mは、車と歩行者が同時に通行可能な幅です。

# 2-(1) 【現状（被災前）課題】 計画道路の整備効果について

## 現況道路

### 平面図



## 現状（被災前）課題

### (防災面)

- ①伊豆山神社線とのアクセス道路が3 m未満と狭小のため、緊急車両の出入りが困難である。
- ②地域内の道路幅員が3～5 m未満と狭く、住宅が密集していることにより、火災時の延焼防止効果が低い。

### (道路利便性)

- ①伊豆山神社線とのアクセス道路が3 m未満と狭小であり、アクセス道路も主に岸谷本線（岸谷2号線）の1路線（一方通行）であることから、伊豆山神社線とのアクセス性が悪い。
- ②岸谷倶楽部より上側の地域の方は、家の前面道路が3 m未満と狭小であることから、自宅とのアクセス性が悪い。

# 2-(2) 【整備効果】 計画道路の整備効果について

## 計画道路（整備後）



命と生活を守る道路

## 道路整備効果

### (防災面)

①伊豆山神社線とのアクセス道路が3m未満と狭小のため、緊急車両の出入りが困難である。

⇒ **緊急車両の出入りが容易となる**

②地域内の道路幅員が3～5m未満と狭く、住宅が密集していることにより、火災時の延焼防止効果が低い。

⇒ **延焼防止効果が向上する**

・ **緊急時の避難・迂回ルート  
の選択肢が増え、安全性が向上**

### (道路利便性)

①伊豆山神社線とのアクセス道路が3m未満と狭小であり、アクセス道路も主に岸谷本線（岸谷2号線）の1路線（一方通行）であることから、伊豆山神社線とのアクセス性が悪い。

⇒ **7.3mのアクセス道路が1路線  
増え、アクセス性が向上**

②岸谷倶楽部より上側の地域の方は、家の前面道路が3m未満と狭小であることから、自宅とのアクセス性が悪い。

⇒ **4mの前面道路となる方が増え、  
自宅とのアクセス性が向上**

### (その他)

・ **景観性が向上**

**岸谷倶楽部より上側を整備することにより、  
地域の安全性と道路利便性が上がる。**